



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月27日

上場会社名 エムケー精工株式会社
 コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 将一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小林 文彦

TEL 026-272-0601

四半期報告書提出予定日 平成29年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年3月21日～平成29年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,995	0.6	719	5.9	716	4.6	444	7.8
29年3月期第2四半期	10,055	3.5	678	42.7	685	46.8	412	38.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 423百万円 (148.2%) 29年3月期第2四半期 170百万円 (44.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	30.68	
29年3月期第2四半期	28.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	22,209	10,763	48.5	742.28
29年3月期	19,744	10,456	53.0	721.05

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,763百万円 29年3月期 10,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		8.00	8.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年3月21日～平成30年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	2.7	650	33.2	600	38.0	350	43.1	24.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	15,595,050 株	29年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	1,093,905 株	29年3月期	1,093,825 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	14,501,218 株	29年3月期2Q	14,501,225 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の経済情勢の不確実性や金融資本市場の変動による影響など、先行き不透明感が残るものの、政府による各種政策を背景に企業収益や雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループ関連業界におきましては、オート機器の分野では設備投資は堅調に推移しましたが、情報機器及び生活機器の分野では、市場が伸び悩む中、ともに激しい価格競争が続く厳しい経営環境にあります。

こうした状況のもと当社グループは、持続的成長と健全な企業体質への改善に向けて、モノづくりの原点回帰と顧客視点に立った商品開発、サービス品質の向上に取り組むとともに、継続的なコスト低減と生産性の向上により、収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は99億9千5百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は7億1千9百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益は7億1千6百万円（前年同期比4.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4千4百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(オート機器事業)

主力製品の門型洗車機は、昨年に引き続き政府補助金制度の効果によりSS業界の需要が好調を維持したことに加え、カーディーラー及び整備工場業界が新設等の積極的な投資を行ったことにより堅調に推移しました。また、オイル機器ではCVT&ATオートチェンジャーやエアコンプレッシャーが、SS業界の油外収益に対する意欲の高さから販売台数を伸ばしました。その結果、売上高は前年同期比2.3%増の69億6千3百万円となりました。

(情報機器事業)

一般店舗向け小型表示機は前年同期の実績を上回ったものの、大型表示機の受注数が少ない状況が続いています。また、SS向け価格看板は好調でしたが、官需関連は当期内に売上となる案件が少なかったことから、全体として低調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比26.0%減の6億9千7百万円となりました。

(生活機器事業)

農家向け商材の低温貯蔵庫は概ね前年並みに推移しましたが、電子レンジ置き台、保冷米びつなど一般家庭向け商材は、個人消費の伸び悩みにより低調に推移しました。一方、今期新発売した調理家電の小型精米機やパン焼き機は、順調に売上を伸ばしました。その結果、売上高は前年同期比0.2%増の16億6千6百万円となりました。

(住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、主として木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置及び体育館向けの防球格子建具を製造・販売しております。地域産の木材利用促進と省エネ基準義務化の後押しにより販売が好調に推移し、また自然災害が発生した際に避難所にもなる体育館での防球格子建具は、防犯を兼ね備えた安全性や、通風とブラインド効果を発揮しながら衝撃荷重にも耐えうることから需要が伸びております。その結果、売上高は前年同期比7.2%増の5億7千5百万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、お客様のニーズを踏まえたサービス品質の向上に努めておりますが、競合ホテルの出店に加え価格競争による厳しい環境が続いております。その結果、売上高は前年同期比9.8%減の9千2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ24億6千5百万円増加し222億9百万円となりました。流動資産は19億7千4百万円増の121億7千万円、固定資産は4億9千1百万円増の100億3千9百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い受取手形及び売掛金が9億4百万円増加、たな卸資産が10億6千3百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ21億5千7百万円増加し114億4千5百万円となりました。流動負債は18億4千5百万円増の84億7千1百万円、固定負債は3億1千1百万円増の29億7千3百万円となりました。これは主に買掛金が4億2千4百万円増加、短期借入金が11億5千5百万円増加、長期リース債務が4億3千5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加し、107億6千3百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億2千8百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ8千4百万円減少し、5億1千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、4億8百万円(前年同期比8千2百万円の減少)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益7億1千6百万円を計上したことや仕入債務の増加額5億4千万円により資金が増加した一方、売上債権の増加額9億2千5百万円とたな卸資産の増加額10億8千万円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億1千2百万円(前年同期比5千3百万円の増加)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億8千4百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、6億4千2百万円(前年同期比4千4百万円の減少)となりました。主な要因は、短期借入金の純増額11億5千5百万円により資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出2億7千1百万円、社債の償還による支出1億円により資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年4月28日発表の「平成29年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,836,443	1,868,339
受取手形及び売掛金	3,958,456	4,863,365
商品及び製品	1,572,666	2,063,351
仕掛品	1,122,446	1,362,210
原材料及び貯蔵品	1,362,304	1,695,638
その他	370,846	343,970
貸倒引当金	△27,124	△26,816
流動資産合計	10,196,038	12,170,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,324,204	2,339,996
機械装置及び運搬具(純額)	472,104	474,071
土地	2,981,164	2,981,164
その他(純額)	237,208	641,788
有形固定資産合計	6,014,682	6,437,020
無形固定資産		
のれん	621,583	567,151
その他	481,935	467,229
無形固定資産合計	1,103,518	1,034,380
投資その他の資産	2,429,856	2,568,032
固定資産合計	9,548,057	10,039,433
資産合計	19,744,096	22,209,493

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	859,275	1,396,971
短期借入金	1,145,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	528,546	470,157
未払金	3,008,283	3,082,444
未払法人税等	234,106	301,369
賞与引当金	291,900	293,540
引当金	198,760	198,760
その他	360,140	428,411
流動負債合計	6,626,012	8,471,653
固定負債		
長期借入金	2,109,194	1,946,020
退職給付に係る負債	113,755	114,814
その他	439,095	913,101
固定負債合計	2,662,044	2,973,936
負債合計	9,288,056	11,445,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	4,013,596	4,342,495
自己株式	△510,424	△510,457
株主資本合計	9,827,868	10,156,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338,101	396,947
繰延ヘッジ損益	23,845	4,993
為替換算調整勘定	117,384	44,287
退職給付に係る調整累計額	148,840	160,940
その他の包括利益累計額合計	628,171	607,169
純資産合計	10,456,040	10,763,903
負債純資産合計	19,744,096	22,209,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
売上高	10,055,043	9,995,583
売上原価	6,610,369	6,446,630
売上総利益	3,444,674	3,548,952
販売費及び一般管理費	2,765,696	2,829,700
営業利益	678,977	719,252
営業外収益		
受取配当金	19,761	19,839
その他	35,225	27,749
営業外収益合計	54,987	47,588
営業外費用		
支払利息	25,379	30,825
為替差損	14,037	—
その他	8,847	19,105
営業外費用合計	48,264	49,931
経常利益	685,700	716,910
特別利益		
固定資産売却益	—	55
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	6,868	—
特別利益合計	6,868	55
特別損失		
固定資産除売却損	638	470
ゴルフ会員権評価損	782	—
特別損失合計	1,420	470
税金等調整前四半期純利益	691,149	716,495
法人税、住民税及び事業税	294,790	262,937
法人税等調整額	△16,334	8,648
法人税等合計	278,455	271,586
四半期純利益	412,693	444,908
親会社株主に帰属する四半期純利益	412,693	444,908

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月21日 至 平成29年9月20日)
四半期純利益	412,693	444,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,115	58,846
繰延ヘッジ損益	7,699	△18,851
為替換算調整勘定	△243,104	△73,096
退職給付に係る調整額	14,616	12,100
その他の包括利益合計	△241,904	△21,002
四半期包括利益	170,789	423,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,789	423,906

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	691,149	716,495
減価償却費	224,033	248,768
のれん償却額	54,432	54,432
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,022	107
賞与引当金の増減額 (△は減少)	54,160	1,640
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△32,576	△40,846
受取利息及び受取配当金	△32,257	△24,121
支払利息	25,379	30,825
ゴルフ会員権評価損	782	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△55
有形固定資産除却損	638	470
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,046,974	△925,380
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,131,234	△1,080,182
その他の資産の増減額 (△は増加)	28,501	23,870
仕入債務の増減額 (△は減少)	580,672	540,422
その他の負債の増減額 (△は減少)	207,980	258,611
小計	△376,336	△194,944
利息及び配当金の受取額	32,238	24,118
利息の支払額	△25,199	△31,313
法人税等の支払額	△121,797	△206,408
営業活動によるキャッシュ・フロー	△491,096	△408,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△789,446	△1,076,917
定期預金の払戻による収入	777,500	950,360
有形固定資産の取得による支出	△239,328	△184,127
有形固定資産の売却による収入	—	55
無形固定資産の取得による支出	△4,017	△490
投資有価証券の取得による支出	△2,629	△2,572
貸付金の回収による収入	120	—
その他の収入	15,679	9,232
その他の支出	△17,077	△8,475
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,199	△312,934
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,270,000	1,155,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△43,797	△74,706
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△422,810	△271,563
社債の償還による支出	—	△100,000
自己株式の取得による支出	—	△33
配当金の支払額	△116,009	△116,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	687,382	642,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,781	△5,798
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△101,695	△84,594
現金及び現金同等物の期首残高	685,508	595,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	583,812	510,622

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月21日 至 平成28年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,809,402	941,960	1,663,364	537,272	103,044	10,055,043	-	10,055,043
セグメント間の内部 売上高又は振替高	438	30,047	236,913	24	75,567	342,991	△342,991	-
計	6,809,840	972,008	1,900,277	537,296	178,611	10,398,035	△342,991	10,055,043
セグメント利益又は 損失(△)	1,059,528	65,191	132,816	△78,242	31,002	1,210,296	△531,318	678,977

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△531,318千円には、セグメント間取引消去8,178千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△539,497千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月21日 至 平成29年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,963,182	697,129	1,666,542	575,783	92,945	9,995,583	-	9,995,583
セグメント間の内部 売上高又は振替高	868	36,063	262,858	21	79,288	379,100	△379,100	-
計	6,964,050	733,193	1,929,401	575,805	172,234	10,374,684	△379,100	9,995,583
セグメント利益又は 損失(△)	1,147,631	27,953	104,836	△50,157	35,412	1,265,676	△546,424	719,252

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△546,424千円には、セグメント間取引消去9,372千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△555,797千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。